

令和  
5年度

環境政策を支える

# 環境研究総合推進費

ENVIRONMENT RESEARCH & TECHNOLOGY DEVELOPMENT FUND

Carbon Neutral



Circular Economy



Nature Positive



環境省



# 環境研究総合推進費とは

## 目的

### 研究開発により環境政策の推進に寄与

環境研究総合推進費(以下「推進費」という。)は、気候変動問題への対応、循環型社会の実現、自然環境との共生、環境リスク管理等による安全の確保など、持続可能な社会構築のための環境政策の推進にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発の促進を目的として、環境分野のほぼ全領域にわたる研究開発を実施しています。

## 特徴

### 環境省が必要とする研究テーマ(行政ニーズ)に合致する研究開発を採択・実施

推進費は、「環境研究・環境技術開発の推進戦略(令和元年5月21日環境大臣決定)」に示された「重点課題」及び環境省からの「行政要請研究テーマ(行政ニーズ)」を提示して公募を行い、広く産学民官の研究機関の研究者から提案を募り、評価委員会及び分野毎の研究部会の審査を経て採択された課題を実施する、環境政策貢献型の競争的資金です。

環境省がトップダウン的に研究テーマや研究リーダー等の大枠を決めた上で、研究チームを競争的に選定するシステム(戦略的研究開発領域※)を設けるなど、環境政策への貢献・反映に立脚した戦略的な研究開発を強力に推進します。

#### ※戦略研究プロジェクト(I):

特に重点化して進めるべき、又は先導的な成果を上げることが期待される大規模研究開発プロジェクト。環境省が提示した戦略研究テーマを構成する研究課題を公募。研究期間は5年以内。

#### 戦略研究プロジェクト(II):

短期間で重点的に進めるべき中規模の研究プロジェクト。環境省が提示した戦略研究テーマを構成する研究課題を公募。研究期間は3年以内。

### 外部委員の評価により制度運営の透明性・公平性・効率性を確保

推進費において、事前評価(採択時審査)、中間評価、事後評価を行う評価委員会・研究部会は外部専門家・有識者等からなり、各研究課題は、必要性・効率性・有効性等の観点から審査されます。

事前評価の結果に基づいて新規課題の採否を決定し、中間評価の結果に基づいて次年度予算額の増減を決定するなど、透明かつ公平で効率的な制度運用に努めています。

## 研究の対象領域

令和元年度から、「環境研究・環境技術開発の推進戦略」の構成に当たった、以下の5領域構成としました。

### ■統合領域(第1部会)

持続可能な社会の実現に向けたビジョン・理念の提示、ビジョン・理念の実現に向けた研究・技術開発、持続可能な社会の実現に向けた価値観・ライフスタイルの変革、環境問題の解決に資する新たな技術シーズの発掘・活用、災害・事故に伴う環境問題への対応に貢献する研究・技術開発、グローバルな課題の解決に貢献する研究・技術開発(「海洋プラスチックごみ問題への対応」)等

### ■気候変動領域(第2部会)

気候変動の緩和策に係る研究・技術開発、気候変動への適応に係る研究・技術開発、地球温暖化現象の解明・予測・対策評価等

### ■資源循環領域(第3部会)

地域循環共生圏形成に資する廃棄物処理システムの構築に関する研究・技術開発、ライフサイクル全体での徹底的な資源循環に関する研究・技術開発、社会構造の変化に対応した持続可能な廃棄物の適正処理の確保に関する研究・技術開発等

### ■自然共生領域(第4部会)

生物多様性の保全に資する科学的知見の充実や対策手法の技術開発に向けた研究、生態系サービスの持続的な利用やシステム解明に関する研究・技術開発等

### ■安全確保領域(第5部会)

化学物質等の包括的なリスク評価・管理の推進に係る研究、大気・水・土壌等の環境管理・改善のための対策技術の高度化及び評価・解明に関する研究等

※エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出抑制に資する技術開発等は、エネルギー対策特別会計により別途実施されているため、推進費の対象には含まれません。

### <環境研究・技術 情報総合サイトのトップページ図>



### <環境研究総合推進費のトップページ図>



## 環境研究総合推進費の歩み

推進費は、平成22～23年度に、「地球環境研究総合推進費」、「環境研究・技術開発推進費」、「循環型社会形成推進科学研究費補助金」の3つの競争的研究資金を統合して創設されました。

平成24年度からは、東日本大震災復興特別会計を財源とする復興枠を設け、被災地の早期復興にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発を推進してきました。なお、復興枠による研究課題は、平成26年度で終了しました。

令和4年度からは、自然科学分野から人文社会科学分野まで多様な分野からの研究提案、若手研究者からの研究提案など、より多くの研究提案に機会を提供するため、研究開発費の年間支援規模を見直した「ミディウムファンディング枠」を新たに創設しています。

また、効果的・効率的な事業の推進を図るため、平成28年10月より独立行政法人環境再生保全機構へ一部業務を移管しています。

### 環境省の競争的研究資金の推移(単位:億円)



- 地球環境研究総合推進費
- 環境研究・技術開発推進費
- 循環型社会形成推進科学研究費補助金
- 環境研究総合推進費(一般枠)
- 環境研究総合推進費(復興枠)

推進費の制度や概要については、以下の環境省HPで公開しています。



<https://www.env.go.jp/policy/kenkyu/>



<https://www.env.go.jp/policy/kenkyu/suishin/gaiyou/>

公募情報については、独立行政法人環境再生保全機構の環境研究総合推進費HPで公開しています。



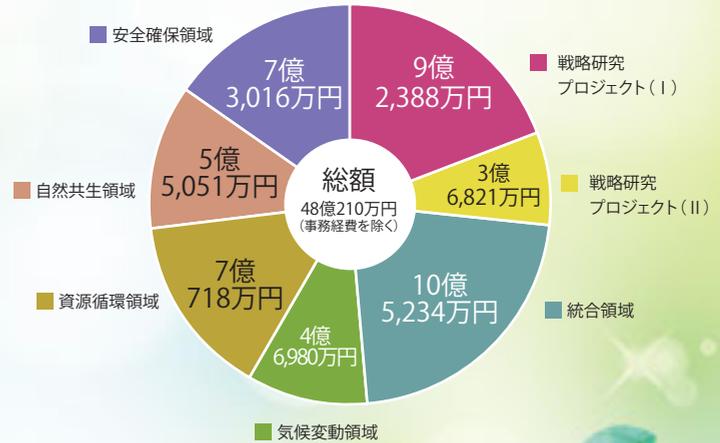
<https://www.erca.go.jp/suishinhi/>

## 令和5年度の実施課題数及び予算額

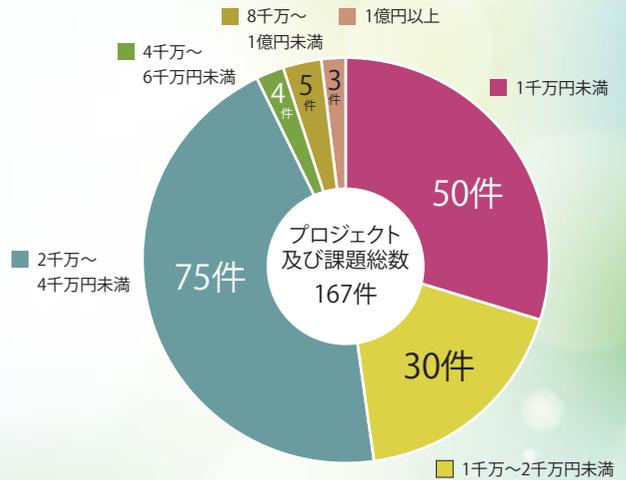
令和5年度は、継続研究課題(戦略研究プロジェクト5件、問題対応型・革新型等の個別研究課題103件)に加え、新規研究課題として、戦略研究プロジェクト3件と個別研究課題56件に着手します。

なお、令和5年度は、戦略研究プロジェクト(I)4件、(II)4件、個別研究課題159件の研究開発を実施しています。

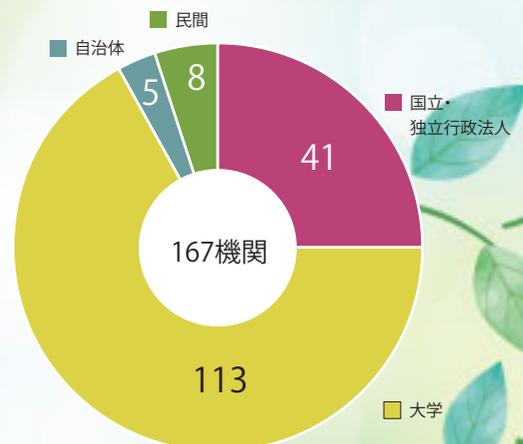
### 領域別予算額



### 予算規模別課題数



### 代表者所属機関数



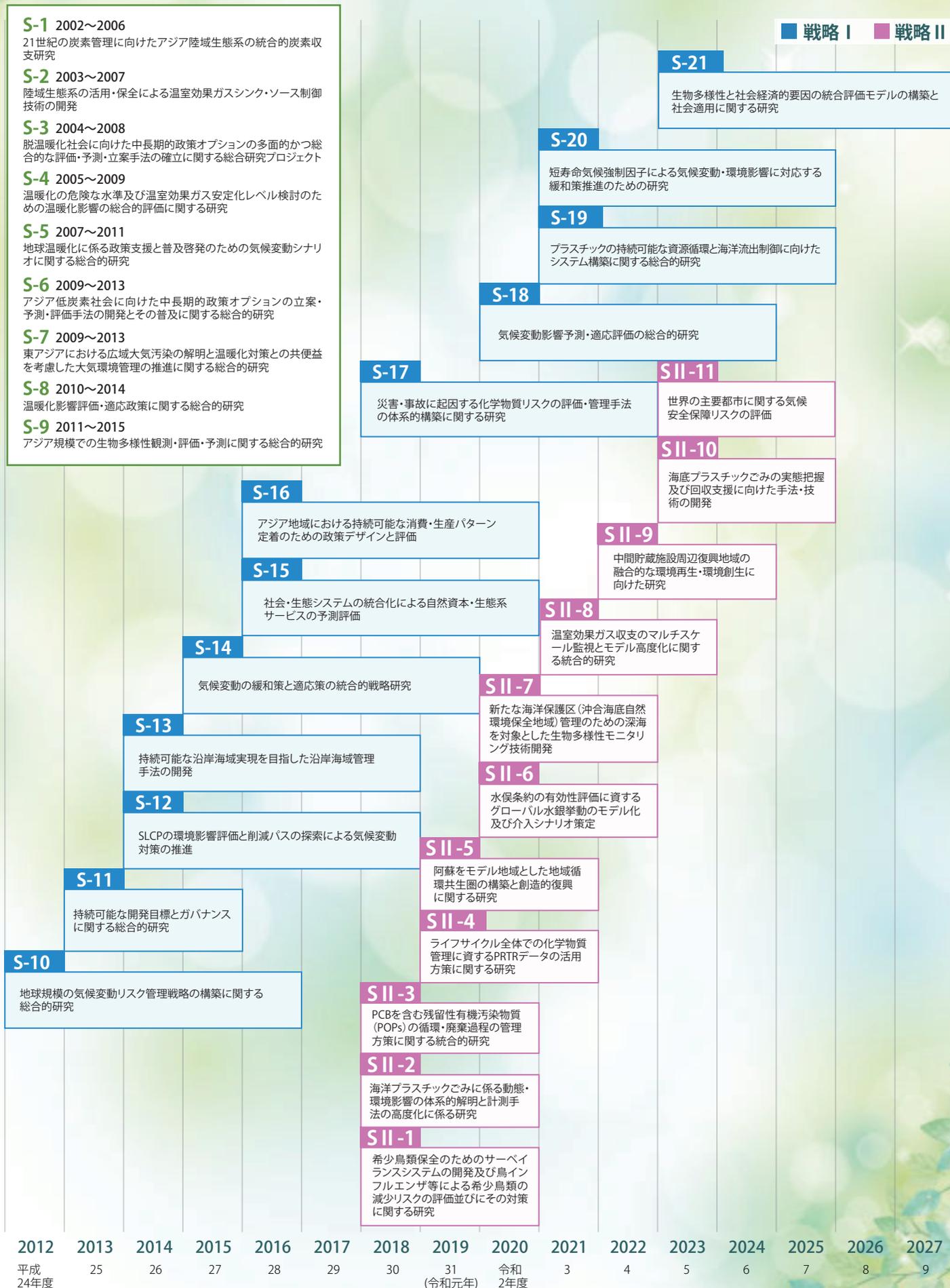
# 戦略的研究開発領域(Ⅰ,Ⅱ)プロジェクト名及び実施状況

## ● 戦略研究プロジェクト(Ⅰ):

特に重点化して進めるべき、又は先導的な成果を上げることが期待される大規模研究開発プロジェクト。環境省が提示した戦略研究テーマを構成する研究課題を公募。研究期間は5年以内。

## ● 戦略研究プロジェクト(Ⅱ):

短期間で重点的に進めるべき中規模の研究プロジェクト。環境省が提示した戦略研究テーマを構成する研究課題を公募。研究期間は3年以内。



# 令和5年度実施課題一覧

## 【各項目内容について】

課題番号 / 研究代表者 / 研究代表者所属機関 / 研究期間(予定)(単位:年度)  
研究課題名

### 戦略研究プロジェクト(I)

計4プロジェクト

- S-18 / 三村 信男 / 茨城大学 / 2020~2024  
気候変動影響予測・適応評価の総合的研究
- S-19 / 吉岡 敏明 / 東北大学 / 2021~2025  
プラスチックの持続可能な資源循環と海洋流出制御に向けたシステム構築に関する総合的研究
- S-20 / 竹村 俊彦 / 九州大学 / 2021~2025  
短寿命気候強制因子による気候変動・環境影響に対応する緩和策推進のための研究
- S-21 / 齊藤 修 / (公財)地球環境戦略研究機関 / 2023~2027  
生物多様性と社会経済的要因の統合評価モデルの構築と社会適用に関する研究

### 戦略研究プロジェクト(II)

計4プロジェクト

- SII-8 / 伊藤 昭彦 / (国研)国立環境研究所 / 2021~2023  
温室効果ガス収支のマルチスケール監視とモデル高度化に関する統合的研究
- SII-9 / 遠藤 和人 / (国研)国立環境研究所 / 2022~2024  
中間貯蔵施設周辺復興地域の融合的な環境再生・環境創生に向けた研究
- SII-10 / 東海 正 / 東京海洋大学 / 2023~2025  
海底プラスチックごみの実態把握及び回収支援に向けた手法・技術の開発
- SII-11 / 沖 大幹 / 東京大学 / 2023~2025  
世界の主要都市に関する気候安全保障リスクの評価

### 統合領域

計48課題

- 1-2101 / 藤森 真一郎 / 京都大学 / 2021~2023  
世界全域を対象とした技術・経済・社会的な実現可能性を考慮した脱炭素社会への道筋に関する研究
- 1-2102 / 倉持 秀敏 / (国研)国立環境研究所 / 2021~2023  
脱炭素化を目指した汚染バイオマスの先進的エネルギー変換技術システムの開発と実装シナリオの設計及び評価
- 1-2103 / 荒川 久幸 / 東京海洋大学 / 2021~2023  
顕微ラマン光度計を用いた海洋マイクロプラスチックの連続計測システムの開発
- 1-2104 / 川久保 俊 / 法政大学 / 2021~2023  
ローカルSDGs 推進による地域課題の解決に関する研究
- 1-2105 / 濱中 俊輔 / (公財)日本環境整備教育センター / 2021~2023  
汚泥濃縮車を活用した浄化槽汚泥の収集・運搬・処理過程における環境負荷削減効果の網羅的解析および最適活用方法の提案
- 1G-2101 / 矢野 浩之 / 京都大学 / 2021~2023  
セルロースナノファイバー補強によるバイオマスプラスチック用途拡大の推進
- 1G-2102 / 山下 信義 / (国研)産業技術総合研究所 / 2021~2023  
ペルフルオロアルキル化合物「群」のマルチメディア迅速計測技術と環境修復材料の開発
- 1RF-2101 / 星本 陽一 / 大阪大学 / 2021~2023  
バイオガスを含む様々な粗水素からの「直接H<sub>2</sub>貯蔵/高純度H<sub>2</sub>回収の連続プロセス」を実現する革新的分子触媒の開発
- 1RF-2102 / 田中 厚資 / (国研)国立環境研究所 / 2021~2023  
海洋プラスチックの劣化・微細化試験法の作成と、含有化学物質による影響を含めた実態の解明
- 1RF-2103 / 五十嵐 康記 / 福島大学 / 2021~2023  
原発事故地域における森林火災後の放射性物質・再拡散予測システムの開発
- 1RF-2104 / 小澤 隆弘 / 大阪大学 / 2021~2023  
廃棄二次電池からのリチウム循環利用を促す酸化物多孔体の開発
- 1RF-2105 / 甘利 俊太郎 / 東京農工大学 / 2021~2023  
メタンを炭素源とする有価物生産システムの構築に向けた微生物培養と晶析技術の開発
- 1-2201 / 高橋 一生 / 東京大学 / 2022~2024  
長期時系列試料解析に基づく海洋マイクロプラスチック微細化・表層除去過程の解明
- 1-2202 / 増井 利彦 / (国研)国立環境研究所 / 2022~2024  
アジア途上国における気候中立社会の実現に向けたロードマップの定量化に関する研究
- 1-2203 / 山口 敦子 / 長崎大学 / 2022~2024  
トップダウンによる生態系機能を活用した新たな干潟管理手法の提案:水産資源回復と生物多様性保全の両立を目指して
- 1-2204 / 鈴木 剛 / (国研)国立環境研究所 / 2022~2024  
海洋流出マイクロプラスチックの物理・化学的特性に基づく汚染実態把握と生物影響評価
- 1-2205 / 杉森 大助 / 福島大学 / 2022~2024  
廃棄プラスチックのバイオリサイクル技術の開発
- 1G-2201 / 辻井 敬巨 / 京都大学 / 2022~2024  
省エネ・低環境負荷を実現する次世代船底塗膜ならびに塗工プロセスの開発
- 1G-2202 / 保科 宏行 / (国研)量子科学技術研究開発機構 / 2022~2024  
バネの隙間を利用した超高速ホウ素除去技術の開発
- 1MF-2201 / 田端 正明 / 佐賀大学 / 2022~2024  
廃棄建材表面の石綿の可視化による迅速検出・画像解析法の開発と災害現場実証
- 1MF-2202 / 樋口 昌芳 / (国研)物質・材料研究機構 / 2022~2024  
遮熱制御のための近赤外エレクトロクロミック材料の開発
- 1MF-2203 / 天沼 伸恵 / (公財)地球環境戦略研究機関 / 2022~2024  
SDGs実現に向けたフォローアップ・レビューのガバナンスに関する比較研究
- 1MF-2204 / 金 禧珍 / 長崎大学 / 2022~2024  
マイクロ・ナノプラスチックが海洋生物に与える影響:生態学的適切さに基づく評価
- 1RF-2201 / 松崎 義孝 / (国研)海上・港湾・航空技術研究所 / 2022~2024  
閉鎖性水域における水環境デジタルツインの実現:生態系モデルのデータ同化手法の確立と水質長期再解析データベースの開発
- 1RF-2202 / 宮川 一志 / 宇都宮大学 / 2022~2024  
環境にやさしい材料設計に向けた高分子及び分解産物の生物影響の解析
- 1RF-2203 / 北山 雄己哉 / 大阪公立大学 / 2022~2024  
環境調和型糖鎖高分子微粒子材料の合成技術開拓
- 1RF-2204 / 友永 泰介 / 産業医科大学 / 2022~2024  
マイクロ/ナノプラスチックの吸入ばく露試験による肺有害性評価と表面官能基の違いが与える肺有害性の解明
- 1CN-2201 / 鈴木 道生 / 東京大学 / 2022~2024  
バイオミネ랄イゼーションを模した海水からの炭酸カルシウム合成による大気中の二酸化炭素固定技術の研究開発
- 1CN-2203 / 野中 寛 / 三重大学 / 2022~2024  
セルロース誘導体を助剤とするバイオマス粉末押出成形・耐水化システムの確立
- 1CN-2206 / 有野 洋輔 / (公財)地球環境戦略研究機関 / 2022~2024  
アジア途上国・準地域における気候中立かつレジリエントな社会実現に向けた緩和・適応の移行戦略の工程表作成および実装支援に関する研究
- 1CN-2207 / 吉竹 晋平 / 早稲田大学 / 2022~2024  
林地へのバイオ炭施用によるCO<sub>2</sub>放出の削減と生態系サービスの強化に関する研究
- 1-2301 / 大嶋 雄治 / 九州大学 / 2023~2025  
マイクロプラスチックの水及び底質経由の曝露による海洋生物への影響評価
- 1-2302 / 金森 有子 / (国研)国立環境研究所 / 2023~2025  
わが国の脱炭素社会実現に向けた都道府県の脱炭素計画に係る課題の統合的分析
- 1-2303 / 矢野 真一郎 / 九州大学 / 2023~2025  
自然外力の増加に適応する水環境保全に向けた有明海・八代海等の気候変動影響評価
- 1-2304 / 加古 真一郎 / 鹿児島大学 / 2023~2025  
AIとリモートセンシングがつかなく街から海岸までの包括的プラスチックごみ観測網の構築
- 1-2305 / 藤田 壮 / 東京大学 / 2023~2025  
ICTを用いた地域のCO<sub>2</sub>の見える化システムと、それを用いた脱炭素事業拠点事業・脱炭素政策の評価プロセスの開発
- 1-2306 / 小坂 浩司 / 国立保健医療科学院 / 2023~2025  
連続監視と網羅分析による水質事故の検知・対策手法の開発と流域モニタリングの最適化
- 1-2307 / 岡 和孝 / (国研)国立環境研究所 / 2023~2025  
極端高温等が暑熱健康に及ぼす影響と適応策に関する研究
- 1MF-2301 / 鈴木 規之 / (国研)国立環境研究所 / 2023~2025  
法学および工学的アプローチの連携による災害・事故時における化学物質と環境リスク管理制度並びに情報基盤に関する研究
- 1MF-2302 / 勝見 尚也 / 石川県立大学 / 2023~2025  
農用地における被覆肥料由来マイクロプラスチックの排出実態の全容解明
- 1MF-2303 / 東海 明宏 / 大阪大学 / 2023~2025  
平時から災害事故時を対象とした化学物質リスクガバナンスに向けた基盤的手法の提案
- 1MF-2304 / 三宅 祐一 / 横浜国立大学 / 2023~2025  
災害・事故に伴う迅速な化学物質曝露・リスク判断のための現地対応型評価デバイスの開発
- 1MF-2305 / 木原 久美子 / 熊本高等専門学校 / 2023~2025  
地域脱炭素に向けたリベラルアーツ環境教育の展開と検証手法の構築

1RF-2301 / 小畑 圭亮 / 東京大学 / 2023~2025  
高速で駆動するグリーン水素とアジピン酸の同時合成プロセスの開発

1RF-2302 / 矢崎 亮 / 九州大学 / 2023~2025  
環境調和型重水素化プロセスの開拓

1RF-2303 / 野呂 和嗣 / 静岡県立大学 / 2023~2025  
マイクロプラスチックと吸着物質の相互作用による海洋汚染促進効果の解明

1RF-2304 / 岸本 史直 / 東京大学 / 2023~2025  
未利用熱を利用した大気中CO<sub>2</sub>の直接・高効率化学転換システム

1RL-2301 / 草野 修平 / (国研)理化学研究所 / 2023~2025  
バイオ触媒による革新的CO<sub>2</sub>資源化

気候変動領域 計20課題

2-2101 / 張 勁 / 富山大学 / 2021~2023  
気候変動による富山県の水・栄養塩循環への影響評価と適応策検討

2-2102 / 亀山 康子 / 東京大学 / 2021~2023  
気候変動の複合的リスクへの対応に関する研究

2-2104 / 杉山 昌広 / 東京大学 / 2021~2023  
脱炭素トランジション:イノベーションとライフスタイル変容の複数モデル評価

2-2105 / 下田 吉之 / 大阪大学 / 2021~2023  
国および自治体の民生部門カーボンマネジメントシステムの開発

2-2106 / 足永 靖信 / (国研)建築研究所 / 2021~2023  
人口流動データと温熱シミュレータによる都市におけるヒートアイランド暑熱リスクに関する研究

2RF-2101 / 福島 潤 / 東北大学 / 2021~2023  
超高比表面積スピネルを用いた電磁波化学プロセスによるCO<sub>2</sub>の高効率資源化

2-2201 / 谷本 浩志 / (国研)国立環境研究所 / 2022~2024  
燃焼起源SLCFの東アジア国別排出量の迅速把握と方法論構築

2-2202 / 高藪 縁 / 東京大学 / 2022~2023  
極端気象の将来変化に関する物理的理解に基づく予測不確実性を低減した情報伝達

2G-2201 / 脇岡 靖明 / (国研)国立環境研究所 / 2022~2024  
適応の効果と限界を考慮した地域別気候変動適応策立案支援システムの開発

2MF-2201 / 中谷 岳史 / 信州大学 / 2022~2024  
気候変動の暑熱リスクに対する学校建築の緩和と適応のシナジー

2MF-2202 / 福村 卓也 / 一関工業高等専門学校 / 2022~2023  
超脱CO<sub>2</sub>を実現するハイブリッドエネルギー型生石灰製造プロセスの開発

2RF-2201 / 竹村 圭弘 / 鳥取大学 / 2022~2024  
梨の温暖化適地を活用した耕作放棄地削減マップの作成

2RF-2202 / 高谷 雄太郎 / 東京大学 / 2022~2024  
グリーンタフ地域におけるCO<sub>2</sub>地中貯留候補地の選定に向けた実践的研究

2-2301 / 松井 仁志 / 名古屋大学 / 2023~2025  
北極気候に関わるエアロゾルの長期的変化の把握と放射・気候影響評価

2-2302 / 西廣 淳 / (国研)国立環境研究所 / 2023~2025  
気候変動適応と緩和に貢献するNbS—流域スケールでの研究—

2-2303 / 稲津 将 / 北海道大学 / 2023~2025  
全国主要都市に対する暑熱・強風・雪の気候変動脆弱性アトラスの作成

2MF-2301 / 原田 守啓 / 岐阜大学 / 2023~2025  
長良川流域における森・里・川の気候変動適応が中山間地域の生業の持続性とウェルビーイングに与える影響の研究

2MF-2302 / 永田 貴丸 / 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター / 2023~2025  
水質・底質の健全化に資する底生動物の機能評価と彼らの減少がもたらすリスクの推定

2RF-2301 / 宋和 慶盛 / 京都大学 / 2023~2025  
常温常圧中性におけるCO<sub>2</sub>から乳酸へのバイオ資源化

2RL-2301 / 公江 仁一 / 神戸大学 / 2023~2025  
閉鎖性水域の貧酸素化の予防改善方法の提案

資源循環領域 計35課題

3-2101 / 寺園 淳 / (国研)国立環境研究所 / 2021~2023  
リチウムイオン電池等の循環・廃棄過程における火災事故実態の解明と適正管理対策提案

3-2102 / 松神 秀徳 / (国研)国立環境研究所 / 2021~2023  
新規・次期フッ素化合物POPsの適正管理を目的とした廃棄物発生実態と処理分解挙動の解明

3-2103 / 石森 洋行 / (国研)国立環境研究所 / 2021~2023  
先が読めない廃止期間を、半物理・半統計的に評価するための最終処分場エミッションモデルの構築

3G-2101 / 小野田 弘士 / 早稲田大学 / 2021~2023  
非接触型ごみ収集システムの開発と社会実装に向けたシナリオ構築

3G-2102 / 近藤 勝義 / 大阪大学 / 2021~2023  
工程内廃材使用による廉価高強度チタン合金開発と応用

3G-2103 / 高巣 幸二 / 北九州市立大学 / 2021~2023  
ジオポリマーコンクリートに資する木質バイオマス燃焼灰の資源化技術の実証開発

3RF-2101 / 藤井 祥万 / 東京大学 / 2021~2023  
廃棄物処理における未利用熱を近隣産業で再生する蓄熱輸送技術の出熱過程実証

3RF-2102 / 廣森 浩祐 / 東北大学 / 2021~2023  
油脂産業で大量発生するフーツの完全循環を目指すコルベ電解システムの開発

3-2201 / 南齋 規介 / (国研)国立環境研究所 / 2022~2024  
カーボンニュートラル目標と調和する日本の物質フロー構造の解明

3-2202 / 田村 正純 / 大阪公立大学 / 2022~2024  
ポリオレフィン系廃プラスチックのケミカルアップサイクル技術の開発

3G-2201 / 山田 正人 / (国研)国立環境研究所 / 2022~2024  
ごみの排出・収集時における感染防止対策に関する研究

3G-2202 / 鈴木 慎也 / 福岡大学 / 2022~2024  
地域特性によるプラスチック回収資源化システムのモデル・シナリオ形成

3MF-2201 / 氏川 恵次 / 横浜国立大学 / 2022~2024  
循環経済・脱炭素社会シナリオのSEEA/SDGsによる物的・貨幣的な定量的評価

3MF-2202 / 熊谷 将吾 / 東北大学 / 2022~2024  
ワイヤーハーネス廃線の塩ビ被覆材及び銅線の高度湿式剥離及びリサイクルの社会実装に向けたパイロットスケールプロセス設計

3MF-2203 / 山川 肇 / 京都府立大学 / 2022~2024  
ICTを活用した家庭系食品ロス削減施策の発生抑制効果に関する研究

3MF-2204 / 樋口 壯太郎 / NPO法人環境技術支援ネットワーク / 2022~2024  
海面処分場安定化と残留キレート分解に関する研究

3RF-2201 / 竹内 希 / 東京工業大学 / 2022~2024  
セルロース系廃棄物転換に向けた低温・低環境負荷プラズマ反応場を用いた高効率触媒合成技術の開発

3RF-2202 / 中安 祐太 / 東北大学 / 2022~2024  
有機性廃棄物資源循環に資する木質由来炭素を活用したエネルギー変換システム

3RF-2203 / 楠本 周平 / 東京大学 / 2022~2024  
炭素資源循環を可能にする精密分子変換のための革新的分子触媒技術

3RF-2204 / 木下 裕介 / 東京大学 / 2022~2024  
サービス志向型サーキュラーエコノミービジネスの環境負荷削減ポテンシャル評価に関する研究

3CN-2202 / 藤井 実 / (国研)国立環境研究所 / 2022~2024  
プラスチック等脱炭素広域循環経済と食品廃棄物地域循環による環境・経済効果の最大化

3CN-2204 / 渡邊 賢 / 東北大学 / 2022~2024  
地域企業を中核としたLMO 系リチウムイオン電池域内循環システムの提案

3CN-2205 / 神田 英輝 / 名古屋大学 / 2022~2024  
微細藻類からの油脂抽出におけるポリマー系凝集剤の影響の解明

3-2301 / 梶原 夏子 / (国研)国立環境研究所 / 2023~2025  
プラスチック循環の推進と調和する化学物質管理に向けた樹脂添加剤の循環実態の解明

3-2302 / 後藤 雅宏 / 九州大学 / 2023~2025  
無機酸と有機溶媒を代替可能な環境調和型レアメタルリサイクル溶媒の開発

3-2303 / 矢吹 芳教 / (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 / 2023~2025  
最終処分場浸出水等に含まれるPOPs等の排出機構の解明とリスク低減技術の開発

3-2304 / 中久保 豊彦 / 大阪大学 / 2023~2025  
浄化槽システムの脱炭素化に向けた維持管理・転換方策の提案とシナリオ設計

3-2305 / 渡部 徹 / 山形大学 / 2023~2025  
下水道資源等を利用した良質な飼料作物栽培で目指す地域循環共生圏

3MF-2301 / 飯塚 淳 / 東北大学 / 2023~2024  
高電圧パルス破碎を利用した複合材料の効率的処理と樹脂の回収

3MF-2302 / 椿 俊太郎 / 九州大学 / 2023~2025  
空間電力合成マイクロ波加熱を利用した有機廃棄物の高速炭化システムの開発

3RF-2301 / 滝本 大裕 / 琉球大学 / 2023~2025  
ナノ空間制御による有害フッ素化合物の回収・分解に係る革新的技術の創出

3RF-2302 / 田中 真司 / (国研)産業技術総合研究所 / 2023~2025  
ポリエステル繊維の低エネルギーケミカルリサイクル技術の開発

3RF-2303 / 福 康二郎 / 関西大学 / 2023~2025  
有機廃棄物の持続可能な高度分解処理を実現する光自己再生型不均一系フェントン触媒の開発

3RF-2304 / 兵法 彩 / 東京都市大学 / 2023~2025  
社会的受容性に着目したバイオマス資源循環利用促進のためのライフサイクル思考

3RL-2301 / 山田 哲也 / 東京工業大学 / 2023~2025  
バイオエタノールで動作するポータブル固体酸化物形燃料電池

自然共生領域 計24課題

4-2101 / 村山 美穂 / 京都大学 / 2021~2023  
生殖細胞を活用した絶滅危惧野生動物の生息域外保全

4-2102 / 三寺 史夫 / 北海道大学 / 2021~2023  
世界自然遺産・知床をはじめとするオホーツク海南部海域の海水・海洋変動予測と海洋生態系への気候変動リスク評価

4-2103 / 占部 城太郎 / 東北大学 / 2021~2023  
高度画像解析技術を用いたプランクトンモニタリング手法に基づく湖沼生態系監視技術の開発

4G-2101 / 橋本 佳明 / 兵庫県立大学 / 2021~2023  
マイクロカプセル化わさび成分によるヒアリのコンテナ貨物侵入阻止とシリコン樹脂充填によるコンテナヤードでのヒアリ営巣阻止技術の確立と応用

4G-2102 / 関島 恒夫 / 新潟大学 / 2021~2023  
環境アセスメントへの活用を目指した鳥類およびコウモリ類の飛翔を識別するレーザ画像解析システムの開発

4RF-2101 / 小長谷 達郎 / 奈良教育大学 / 2021~2023  
オガサワラジミの再生を目指した凍結卵巣移植法の研究

4RF-2102 / 片山 雅史 / (国研) 国立環境研究所 / 2021~2023  
野生動物への環境汚染物質の影響評価を実現する培養細胞を用いた新規評価技術の構築

4RF-2103 / 高橋 佑磨 / 千葉大学 / 2021~2023  
都市化による昆虫への遺伝的・エピ遺伝的影響と汚染的遺伝子流動の評価

4-2201 / 川北 篤 / 東京大学 / 2022~2024  
小笠原諸島における植物-昆虫相互作用網の保全に向けた情報基盤の確立と情報取得技術の開発

4-2202 / 瀬戸口 浩彰 / 京都大学 / 2022~2024  
希少植物の発芽実生が自生地に定着するために必要な生理生態解析とリアルタイムモニタリング技術の開発研究

4-2203 / 栗山 浩一 / 京都大学 / 2022~2024  
国立公園の環境価値と利用者負担政策の評価手法開発に関する研究

4MF-2201 / 宮島 利宏 / 東京大学 / 2022~2024  
沿岸海洋生態系の保全・再生における緩衝植生帯の役割の評価と活用技術の開発: サンゴ礁の再建に向けた事例研究

4MF-2202 / 井鷲 裕司 / 京都大学 / 2022~2024  
保全ゲノミクスによる保護増殖事象対象種の存続可能性評価

4RF-2201 / 岩田 高志 / 神戸大学 / 2022~2024  
沿岸生態系の高次捕食動物スナメリ(絶滅危惧種)の生態解明

4RF-2202 / 田村 繁明 / (国研) 森林研究・整備機構 / 2022~2024  
特定外来生物クビアカツヤカミキリの新たな定着地の早期発見・早期駆除システムの開発

4RF-2203 / 平井 惇也 / 東京大学 / 2022~2024  
気候変動の影響評価に向けた地球規模の海洋性動物プランクトン多様性解析

4-2301 / 矢原 徹一 / (一社)九州オープンユニバーシティ / 2023~2025  
ゲノム情報と正確な同定にもとづく維管束植物の統合データベース構築と多様性指標・保全優先度の地図化技術の開発

4-2302 / 角谷 拓 / (国研) 国立環境研究所 / 2023~2025  
生物多様性の時間変化をとらえるデータ統合と指標開発

4-2303 / 仲間 雅裕 / 北海道大学 / 2023~2025  
生物多様性保全・気候変動対策・地域振興を最適化させる自然公園設計: 北海道東部・根釧地方における学際的研究と実践

4-2304 / 金本 圭一朗 / 東北大学 / 2023~2025  
TNFDIに向けた生物多様性評価指標の開発とサプライチェーン分析ツールの開発

4-2305 / 田中 健太 / 筑波大学 / 2023~2025  
歴史が生み出す二次的自然のホットスポット: 環境価値と保全効果の「見える化」

4G-2301 / 辻 瑞樹 / 琉球大学 / 2023~2025  
ヒアリなどの侵略的外来生物の被害予測にもとづく効率的かつ確実な防除対策の研究開発

4RF-2301 / 中臺 亮介 / (国研) 国立環境研究所 / 2023~2025  
生物多様性ビッグデータの持続的創出に資する環境DNA分析手法の高度化

4RF-2302 / 藏満 司夢 / 筑波大学 / 2023~2025  
有用天敵昆虫の保護に向けた、植物用殺菌剤散布による寄生バチ類の「見えざる死」の実態解明

安全確保領域 計32課題

5-2101 / 田中 周平 / 京都大学 / 2021~2023  
土壌・水系における有機フッ素化合物類に関する挙動予測手法と効率的除去技術の開発

5-2102 / 梶井 克純 / 京都大学 / 2021~2023  
オゾン生成機構の再評価と地域特性に基づくオキシダント制御に向けた科学的基礎の提案

5-2103 / 大河内 博 / 早稲田大学 / 2021~2023  
大気中マイクロプラスチックの実態解明と健康影響評価

5-2104 / 上島 通浩 / 名古屋市立大学 / 2021~2023  
網羅的なヒトバイオモニタリングによる化学物質の複合曝露評価手法の提案

5-2105 / 茶谷 聡 / (国研) 国立環境研究所 / 2021~2023  
対策によるオゾン濃度低減効果の裏付けと標準的な将来予測手法の開発

5-2106 / 猪俣 敏 / (国研) 国立環境研究所 / 2021~2023  
光化学オキシダント生成に関わる反応性窒素酸化物の動態と化学過程の総合的解明

5G-2101 / 栗栖 太 / 東京大学 / 2021~2023  
水環境中の要調査項目調査へのターゲットスクリーニング分析の実装

5RF-2101 / 西田 梢 / 筑波大学 / 2021~2023  
温暖化・貧酸素化の適応策に資する二枚貝殻を用いた沿岸環境モニタリングと底生生物への影響評価

5RF-2102 / 鶴丸 央 / (公財) 東京都環境公社 東京都環境科学研究所 / 2021~2023  
熱分解法による大気中総窒素酸化物の個別成分濃度測定法の確立と、関東多地点における通年連続観測による挙動解明

5RF-2103 / 羽深 昭 / 北海道大学 / 2021~2023  
新規水相パッシブサンプラーを用いた底泥リン溶出速度推定法の開発

5-2201 / 川嶋 貴治 / (国研) 国立環境研究所 / 2022~2024  
化学物質の鳥類卵内投与による性分化異常評価手法の開発とテストガイドライン化に向けた提案

5-2202 / 西嶋 渉 / 広島大学 / 2022~2024  
特定海域の栄養塩類管理に向けた評価手法開発

5-2203 / 伊藤 晃佳 / (一財) 日本自動車研究所 / 2022~2024  
タイヤ摩耗粉塵を含む非排気由来の粒子排出実態に関する研究

5-2204 / 征矢野 清 / 長崎大学 / 2022~2024  
魚類に対する環境医薬品の影響評価法開発に関する研究~環境分析・分子応答・行動/繁殖解析による融合評価基盤の構築~

5-2205 / 山本 裕史 / (国研) 国立環境研究所 / 2022~2024  
作用・構造や曝露プロファイルの類似性に基づく複数化学物質の生態リスク評価手法の開発

5MF-2201 / 弓本 桂也 / 九州大学 / 2022~2023  
機械学習によって観測データと統合された新しい大気汚染予測システムの開発と実働実験

5MF-2202 / 道川 武紘 / 東邦大学 / 2022~2024  
PM2.5成分の短期変動による健康影響を定量化する全国規模の環境疫学研究

5MF-2203 / 星 純也 / (公財) 東京都環境公社 東京都環境科学研究所 / 2022~2024  
バックグラウンド濃度の把握によるVOC等大気汚染物質予測精度の向上と地域排出源による健康リスク評価の高精度化

5RF-2201 / 濱脇 亮次 / 広島県立総合技術研究所 / 2022~2023  
建築物の解体現場等において現場判定を可能とする大気飛散アスベスト迅速検出技術の開発

5RF-2202 / 花本 征也 / 金沢大学 / 2022~2024  
国内河川における陽イオン界面活性剤の濃度予測手法の構築

5-2301 / 仁科 一哉 / (国研) 国立環境研究所 / 2023~2025  
廃棄窒素削減に向けた統合的窒素管理に関する研究

5-2302 / 中島 大介 / (国研) 国立環境研究所 / 2023~2025  
データ非依存型取得法による環境汚染物質の定量デジタルアーカイブ手法の開発

5-2303 / 久保 拓也 / 京都大学 / 2023~2025  
実環境試料に基づく甲状腺ホルモン作用かく乱化学物質の同定・分級と複合的健康影響の評価法開発

5-2304 / 山岸 隆博 / (国研) 国立環境研究所 / 2023~2025  
魚類急性毒性試験の動物福祉に配慮した試験への転換に向けた研究

5G-2301 / 黒田 章夫 / 広島大学 / 2023~2025  
大気に浮遊するアスベストの自動計測装置の技術実証

5MF-2301 / 永島 達也 / (国研) 国立環境研究所 / 2023~2024  
2050カーボンニュートラル環境での国内地表オゾンの予測と低オゾン・脱炭素コベネフィット戦略の提示

5MF-2302 / 小林 亨 / 静岡県立大学 / 2023~2025  
自発性摂餌開始前メダカ仔魚を用いた甲状腺ホルモン系内分泌攪乱作用の新規in vivoスクリーニングと有害性評価法の検討: 生態リスク評価のための両生類試験との相関性

5RF-2301 / 五味 良太 / 京都大学 / 2023~2025  
環境水中の薬剤耐性菌の網羅的ゲノム解析

5RF-2302 / 板橋 秀一 / (一財) 電力中央研究所 / 2023~2025  
ドローン計測とシームレス領域モデルに基づく越境する光化学オキシダントの立体構造の解明

5RF-2303 / 堀江 好文 / 神戸大学 / 2023~2025  
メダカを用いた甲状腺ホルモンかく乱物質の検出試験法の開発

5RL-2301 / 高木 麻衣 / (国研) 国立環境研究所 / 2023~2025  
日本人成人および小児の曝露係数データベースの構築に関する研究

5RL-2302 / 岡村 和幸 / (国研) 国立環境研究所 / 2023~2025  
LEDの光制御による睡眠および寿命に及ぼす影響に関する実験的研究

## 公募情報

### 公募時期

公募の予定は、独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進費ホームページ及び環境省推進費ホームページにてお知らせします。9～10月に公募要項を公表し、課題提案を受け付けます。

### 応募方法

課題提案に必要な資料は、独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進費ホームページからダウンロードできます。課題の申請は、「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」を通じて行います。

### 課題の選定

提案課題は、書類の不備や各要件のチェック後、外部の専門家・有識者等により構成される環境研究推進委員会及び各研究部会において審査を行います。審査は、書面による第1次審査を経て課題を絞り、ヒアリング形式の第2次審査により、採択課題を選定します。採択課題の決定は、例年3月ごろです。審査結果は、審査の終了後、応募者へ送付します。

## お問い合わせ先



### 大臣官房総合政策課環境研究技術室

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL:03-3581-3351(代表)



<https://www.env.go.jp/policy/kenkyu/>

企画監修 環境省

編集 一般社団法人 国際環境研究協会

刊行 令和5年9月

